

「夏季少年体育大会」の名称について

清瀬市青少年問題協議会主催の夏季少年体育大会は、長年に渡り夏休み期間中に大会を開催して参りました。しかしながら、現代の気象状況や熱中症リスクへの配慮を踏まえると、実態にそぐわなくなっているのが現状です。

近年においては、剣道大会を5月、野球大会を10月とし、夏季を避けた開催としております。これらのことを勘案した中で以下のような理由から、名称変更を検討する意義があると考えます。

■名称変更を検討すべき理由

1 熱中症リスクの増大

日本の夏は年々猛暑化しており、屋外活動に適さない気象条件の日が増えています。

また、「夏季」「体育」といった言葉が、炎天下での激しい運動を想起させ、安全面への懸念が生じやすくなります。

2 安全配慮のメッセージが伝わりにくい

現在の名称では、主催者側の「熱中症対策や安全を重視している」姿勢が伝わりにくく、保護者や地域からの誤解を招く恐れがあります。

3 他の自治体・スポーツ団体等の動向

令和6年度にスポーツ庁通達「熱中症事故の防止について」によると、「活動の場所や種類にかかわらず、暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度）に基づいて活動中止を判断すること。」とされており、多くの自治体やスポーツ団体では、イベントの中止を回避するため、開催時期を変更している傾向にあります。

■新名称の案（例）

1 中立型

清瀬市少年スポーツ交流大会…季節を限定せず、スポーツ交流に焦点を当てた名称

2 修正型

清瀬市少年スポーツ大会…「夏季」を削除し、「体育」を「スポーツ」に修正した名称

3 キャッチフレーズ型

清瀬市子どもスポーツコンベンション…参加のハードルを下げることに焦点を当てた名称

4 コンセプト型

清瀬市健全育成スポーツ大会…大会開催の目的である「健全育成」に焦点を当てた名称

■新名称の選定について

- ・本会議において協議いただき、新しい名称について採択いただきたいと思います。
- ・令和8年度は新しい名称で大会を開催したいと考えております。